

令和 8 年度 シラバス

教科名 国語

愛媛県立宇和高等学校

現代の国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	総合学科 1 年
使用教科書	標準現代の国語（第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）	履修	必履修・選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
様々な言語活動を通じて、言語感覚を磨き、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		様々な文章や言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。また、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにするとともに、言語感覚を磨き、豊かな感性や情緒を育む。		国語の科目の基礎となるもので、必履修である。 すべての教科の基礎となる国語の力を養う教科である。	
月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
学 習 の 年 間 計 画	一 学 期 視野を広げる 自分の立場を明確にする 言葉と生活 1 根拠を示す 論理的に考える	枠を壊して自由に生きる 言葉遣いとアイデンティティ スピーチで自分を伝える 水の東西 私たちはなぜ承認を求めるのか	筆者の経験から導かれたメッセージを読み取る。 筆者の主張を具体的事例とともに理解する。 わかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 文章の構成や展開、要旨を把握する。 SNS でのコミュニケーションのあり方について考える。		
	二 学 期 情報を読み取る 言葉と生活 2 伝えたいことを明確にする 言葉と生活 2 考えを深める	数量化のジレンマ 生活実態を報告するレポートを書く。 言語としてのピクトグラム ステレオタイプの落とし穴 相手に伝わる案内をする 人はなぜ仕事をするのか	目的に沿うデータを集める方法を考える。 相手と目的に応じた報告文のあり方を理解する。 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解する。 論展開を把握し、筆者の主張を理解する。 相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 筆者が述べる仕事の本質について考察する。		
	三 学 期 言語と生活 3 社会に目を向ける 黄色い花束 「生物多様性」はなぜ大事なのか 言語と生活 4	意見をまとめる話し合い をする 黄色い花束 「生物多様性」はなぜ大事なのか 社会に対する意見文を書く	話し合いの進め方のルールを理解する。 筆者の思いについて考えを深める。 「生物多様性」を守る意義について考える。 意見文の書き方を理解して実践し、評価する。		
学習方法					
【授業】 本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】 単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】 語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	表現と理解に役立てる音声、文法、語句、語彙、漢字等を理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができる。		国語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり、粘り強く理解しようとするとともに、自分の考えを深めたり広げたりしようとしている。
※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

言語文化

愛媛県立宇和高等学校

教 科	国 語	単位数	2	対象	総合学科1年		
使用教科書	標準言語文化（第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）	履修	必修・選択		
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路			
自分の考えをまとめたり深めたりすることを通じて、筋道を立てて適切に表現する力（書く力や話す力）を身に付ける。また、現代文や古文、漢文など様々な文章に触れ、親しみながら語句の意味や文語、訓読のきまりを学ぶ。		様々な文章に触れることで、読む能力を高め、現代の言語文化を豊かに享受していくための資質を養う。古典作品を読むために必要となる知識や技能を伸ばし、ものの見方や考え方、感じ方を深めて、人生を豊かにしようとする態度を養う。		国語の科目の基礎となるもので、必修である。 すべての教科の基礎となる国語の力を養う教科である。			
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	随筆を読む 古文入門 漢文入門 古文に親しむ 故事成語 言語活動	本と出会う 児のそら寝 訓読の基本 絵仏師良秀 五十歩百歩 言語活動	・筆者の考える読書の楽しみ方を理解する。 ・文語のきまりを学び、古文に親しむ。 ・漢文のきまりを学び、訓読に慣れる。 ・用言の活用を学ぶ。 ・故事成語の意味と由来を学ぶ。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。			
	二 学 期	小説を読む1 随筆を読む 漢詩の鑑賞 詩の楽しみ 歌物語を読む 中国の思想 言語活動	とんかつ 徒然草 唐詩の世界 道程 他 伊勢物語 論語 言語活動	・登場人物の人物像と心情を読み取る。 ・作者の批評的精神が提示する事柄を読み解く。 ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞する。 ・鑑賞のしかたを理解し作者の思いを読み取る。 ・歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・思想家のものの見方や考え方を理解する。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。			
	三 学 期	小説を読む2 軍記物語を読む 史伝を読む 言語活動	羅生門 平家物語 史話 三編 言語活動	・小説を深く味わい、主題を読み取る。 ・軍記物語を読んで、合戦場面の描写を味わう。 ・物語の内容を理解し、史話の面白さを味わう。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。			
学 習 方 法	【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】現代文では語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。古典では語句の読みと意味を調べておく。						
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評 価 方 法	※上記3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

論理国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語		単位数	2		対象	普通科2年	
使用教科書	標準論理国語（第一学習社）			副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）		履修	必修修・選択
授業の概要				到達目標		履修の条件・進路		
近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。				実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 論理的、批判的に考える力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 言葉が持つ価値への認識を深める。		3年次も継続して履修する。 グローバル化や情報化が進む社会において、論理的に書いたり批判的に読んだりする力は、どの進路においても欠かせない。		
学年間計画	月	単元名	学習内容				メモ	
	1学期	新しい発見	進化が導き出した答え	・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。				
		言葉と文化	新しい地球観	・オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。				
			数え方で磨く日本語	・具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。				
			名所絵はがきの東西	・絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。				
2学期	生活の中の表現（読み比べ）	情けは人の……	・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。					
	人間と文化	犬も歩けば棒に当たる	・一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。					
		バラと通貨はどう違う？	・本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。					
		ヒトはなぜヒトになったか	・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。					
3学期	自己と社会	共同性の幻想	・「同調圧力」が働く社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方について考察する。					
	実用文	鏡としての他者	・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。					
		法に関わる文章を読み比べる	・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。					
		ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	・実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。					
学習方法	【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。							
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、言葉を効果的に使おうとしている。			
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末		
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均		
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

論理国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	普通科3年		
使用教科書	標準論理国語（第一学習社）	副教材等		履修	必修修・選択		
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路			
近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 論理的、批判的に考える力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 言葉が持つ価値への認識を深める。		2年次から継続して履修する。 グローバル化や情報化が進む社会において、論理的に書いたり批判的に読んだりする力は、どの進路においても欠かせない。			
学習の年間計画	月	単元名	学習内容			メモ	
	1学期	新しい視点	新しい博物学を	・各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・具体例や言い換えに留意しながら内容を正確に把握し、「哲学的思考」の方法を理解する。			
		人間と社会	哲学的思考とは何か	・フェイクニュースとSNSの使用意識について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。			
			SNSと意見の分極化	・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。			
	2学期	生活と自然（読み比べ）	クマを変えてしまう人間	・猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。			
			カブトムシから考える里山と物質循環	・人間と自然との関わりの変化を、自然の社会化という視点から考察した筆者の論理を読み解く。			
			生への思索	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。			
	3学期	現代と社会	経験の教えについて	・筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。			
			僕らの時代のメディア・リテラシー				
			支え合うことの意味	・抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。			
3学期	論理研究—推論	科学技術は暴走しているのか	・AIやロボット技術の現状や日本における捉え方をふまえ、科学技術との向き合い方を考える。				
		レポートを書く	・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。				
		小論文を書く	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。				
学習方法	【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価方法			1学期	2学期	3学期	年度末	
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

文学国語

愛媛県立宇和高等学校

教 科	国語		単位数	2・3		対象	生物工学科2年 普通科2年	
使用教科書	標準文学国語（第一学習社）			副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）		履修	必修修・選択
授業の概要				到達目標		履修の条件・進路		
豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習する。				生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばす。 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		3年次にも継続して履修する。 豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるためには、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習が必要不可欠である。		
学 習 の 二 年 間 計 画	月	単 元 名		学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	現代の小説（一）		調律師のるみ子さん		・「るみ子さん」の気持ちに変化する過程を、彼女の身の上で起こった出来事を通して読み取る。 ・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 ・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察する。 ・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。		
		現代の詩		生命は				
		現代の小説（二）		ナイン				
		随想〈芸術〉		花のいざない				
	二 学 期	随想〈芸術〉		真珠の耳飾りの少女 フェルメールの技を読む		・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 ・対談形式の文章から、話者のフェルメールに対する向き合い方の特徴を読み取り、『真珠の耳飾りの少女』との違いを考える。 ・詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。		
		現代の詩		そこにひとつの席が				
		近代の小説（一）		こころ				
	三 学 期	戦争と文学		バグダッドの靴磨き わたしが一番きれいだったとき 死んだ男の残したものは		・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読む。 ・「僕」の発言の背景にあるものを理解する。 ・作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめる。 ・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかむ。 ・ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。 ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを読み解く。		
		近代の小説（一）		鼻				
学習方法	【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。							
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。			1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
				(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

文学国語

愛媛県立宇和高等学校

教 科		国 語		単位数	2	対象	生物工学科3年 普通科3年	
使用教科書		標準文学国語（第一学習社）			副教材等		履修	必修修・選択
授業の概要				到達目標		履修の条件・進路		
豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、文学作品などの文学的文章を通して様々な学習する。				生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばす。 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		2年次から継続して履修する。 豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるためには、文学作品などの文学的文章を通して様々な学習が必要不可欠である。		
学 習 の 二 年 間 計 画	月	単 元 名		学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	現代の小説（三）	旅する本 富岳百景	・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ・さまざまな文芸的話題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わう。 ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。				
		近代の小説（二）	山月記 清兵衛と瓢箪					
	二 学 期	近代の詩	こころ 汚れつちまつた悲しみに…… 永訣の朝	・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ・「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。				
現代の小説（四）		卒業 ひよこの眼						
三 学 期	戦争と文学（二）	血であがなったもの 夏の花	・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ・「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 ・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 ・言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解する。					
創作をする								
【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。								
評 価 の 観 点	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。			1 学期	2 学期	3 学期	年度末	
				(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

古典探究

愛媛県立宇和高等学校

教 科		国語	単位数	2	対象	普通科2年		
使用教科書		新編古典探究（東京書籍）		副教材等	要点プラス体系古典文法（数研出版） 必携 新明説漢文（尚文出版）		履修 必修修・選択	
授業の概要			到達目標		履修の条件・進路			
古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する資質・能力を育成する。			我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。		3年次にも継続して履修する。 社会でよりよく生きるためには、我が国の文化や伝統に裏付けられた教養としての古典の価値を再認識し、自己の在り方生き方を見つめ直すきっかけとすることが重要である。			
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ		
	一 学 期	古文編1 説話に親しむ 漢文編1 故事と小話 古文編2 随筆を読む 漢文編2 唐詩と文	十訓抄 小話一四編 徒然草 『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる 雑説	・和歌を含んだ説話を読み取り、展開のおもしろさを捉える。 ・故事成語について確認する。 ・構成に注意して、作者の述べるものの見方や感じ方について理解する。 ・随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察する。 ・作者が比喻によって何を主張しようとしたのかを考える。				
		二 学 期	古文編3 作り物語を読む 漢文編4 中国の知恵 古文編5 日記を読む 漢文編3 史記を読む	竹取物語 寓話 土佐日記 項羽と劉邦	・内容を読み取り、そこに表れた人々の思いをとらえる。 ・寓話や故事成語の意味について理解を深める。 ・仮名文による日記の文学史的位置について理解する。 ・登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合う。			
			三 学 期	古文編4 和歌の世界 漢文編5 三国志の世界 古文編6 軍記物語を味わう	小倉百人一首の世界 十八史略 平家物語	・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深める。 ・歴史上の人物を描いた作品を通し、登場人物の行動や心情を捉える。 ・軍記物語の表現の特色について理解を深める。		
学習方法								
【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。								
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他社とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。			
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末		
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均		
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)								

古典探究

愛媛県立宇和高等学校

教 科	国 語	単位数	2・3		対象	普通科3年	
使用教科書	新編古典探究（東京書籍）		副教材等	体系古典文法（数研出版） 必携 新明説漢文（尚文出版）		履修	必履修・選択
授業の概要			到達目標		履修の条件・進路		
古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する資質・能力を育成する。			我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。		2年次から継続して履修する。 社会でよりよく生きるためには、我が国の文化や伝統に裏付けられた教養としての古典の価値を再認識し、自己の在り方生き方を見つめ直すきっかけとすることが重要である。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ	
	— 学 期	古文編 1 随筆を味わう	枕草子	・「をかし」の語に込められている作者の心情を読み取る。			
		漢文編 1 小話を読む	小話一三編	・話の展開や内容のおもしろさを味わい、さまざまな人間の考え方を比較する。			
		古文編 2 歌物語を楽しむ	伊勢物語 大和物語	・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。			
		漢文編 2 古詩を味わう	古体詩一五首	・内容や表現の豊かさを理解し、詩にうたわれた情景や心情を読み味わう。			
	二 学 期	古文編 3 歴史物語を読む	大鏡	・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に読み取る。			
		漢文編 3 史記を味わう	廉頗と藺相如	・登場人物の人柄や言動を捉え、本文と同形の故事成語について現代の生活と絡めた随想を書く。			
		古文編 5 作り物語を味わう	源氏物語	・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。			
		漢文編 4 中国の思想	儒家と道家	・古代中国のさまざまな思想を比較し、人間のあり方について考える。			
	三 学 期	古文編 4 歌話・歌論を読む	袋草紙 無名抄	・歌話・歌論に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解する。			
		古文編 6 俳諧に親しむ	去来抄	・芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。			
		漢文編 5 日本の漢詩文	詩一二首	・表現豊かな詩情を味わい、日本文化と中国文化の関係について考える。			
学習方法	【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
評価方法			1学期	2学期	3学期	年度末	
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

国語表現

愛媛県立宇和高等学校

教 科		国 語		単位数		3		対象		生物工学科3年（選択）									
使用教科書		国語表現(大修館書店)			副教材等		基礎練習ノート			履修		必修修・選択							
授業の概要					到達目標					履修の条件・進路									
話す・聞く・書くといった表現活動に重点を置き、自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的や場面、相手に応じた表現力を身に付ける。					国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					進学、就職ともに小論文が試験に課せられる場合、有効な科目である。また、自己表現力を高めたいと考えている人にも向いている。									
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名			学 習 内 容							メ モ							
	一 学 期	第1部 表現力を培う			言葉と表記 整った文を書く 相手に応じた言葉遣い わかりやすい文を書く 文のつなぎ方 自己紹介ゲーム 絵や写真を見て書く マイニュース記事を書こう 小論文とは何か 反論を想定して書く 資料を読み取って書く レポートを書く 論文を書くために							表記、係り受け、文末表現の統一、適切な敬語 わかりやすい文にする方法 接続表現の種類と働き 図や写真を見て文章を書く 小論文の基本的な書き方 他者を紹介しよう 配置を説明する 「マイニュース」を見つけて、情報を整理する 原稿を書き発表する 反論を想定して書く 資料に対する自分の意見 レポートの基本的な書き方 論文執筆の進め方							
		1 言葉と出会う																	
		2 伝える、伝え合う																	
	二 学 期	3 小論文・レポート入門																	
		4 自己PRと面接			自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 志望動機をまとめよう 面接にチャレンジ 通信文を書き分ける 電話を使いこなす ネット社会とコミュニケーション メディアと情報 言葉のストレッチ体操 ショートスピーチをしよう 相手や場面に応じた会話							自分の長所を見つける 効果的な自己PR 「将来の自分」について文章にまとめる 説得力のある志望動機 適切な言葉遣いや態度 通信文の形式 適切な言葉遣いや応対 ネットを用いたコミュニケーションの特長と留意点 情報の集め方、調べ方 コミュニケーションの楽しさ わかりやすいショートスピーチ 適切な言葉遣い							
5 メディアを駆使する																			
三 学 期	6 会議・議論・発表			議論して結論を出す プレゼンテーションの工夫							建設的な議論 効果的なプレゼンテーション								
学習方法		【授業】国語表現力の向上を図るためにスピーチ、発表、話し合い、作文などの表現活動に取り組む。 【復習】表現と理解に役立てるための演習プリントを解く。 【予習】演習プリントを解く。																	
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。				具体的な事実やできごとを明確に示しながら、意見を出し合っている。適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めている。				自らの経験を振り返り、必要に応じて人から聞いたり調べたりして、積極的に情報を集めようとする。										
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。				1 学期		2 学期		3 学期		年度末								
					(評価方法) 定期考査、小テスト、基礎学習ノート、授業中の活動等による目標の達成度や、提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。						1・2・3 学期の平均								
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)																			